

【 概 要 】

平成23年度 民間住宅ローン利用者の実態調査
【民間住宅ローン利用者編】（第2回）

1. 調査の概要

調査対象期間(平成23年7月～10月)に民間住宅ローンを借入された方を対象とし、利用された住宅ローンの金利タイプ別や住宅ローン選びに関する事項について、インターネットによるアンケート調査を実施(10/14～10/31)し、その結果を取りまとめたものである。回答数:694件。

2. 調査結果の主なポイント

(1) 「変動型」利用割合は52.7%に増加

- ・「変動型」は、今回の調査対象期間(平成23年7月から10月)を通しての利用割合が52.7%(前回調査:51.0%)に増加している。
「全期間固定型」の利用割合は、今回の調査対象期間を通しての割合が19.7%(前回調査:22.7%)に減少している。<p2>
- ・今後1年間の住宅ローン金利見通しについては、「ほとんど変わらない」が68.3%(前回調査:61.7%)と、大半を占めている。<p9>

(2) 住宅ローン選択の決め手は、圧倒的に“金利の低さ“

- ・住宅ローンを選んだ決め手は、「金利が低いこと」とする回答が72.4%と圧倒的に多い。次いで、「繰上返済手数料が安かったこと」「住宅・販売事業者(営業マン等)に勧められたから」の順となっている状況に変化はない。<p14>